

# 学報



平成29年度岐阜大学入学式  
及び岐阜大学大学院入学式を挙

2017年5月 Vol.717

平成29年度岐阜大学入学式及び岐阜大学大学院入学式を挙	01
平成29年度連合農学研究科・連合獣医学研究科入学式を挙	08
岐阜大学大学院自然科学技術研究科設置記念行事を開	12
レイクヘッド大学（カナダ）副学長らが森脇学長を表敬訪	13
岐阜大学大学院教育学研究科 日本台湾教育研究交流大会「学校管理職の養成を考える」	14
笠松町と連携に関する協定を締結	16
平成29年度 第1回学長記者会見を実施	17
応援奨学生決定通知書交付式を実施	18
海外留学フェアを開催	20
平成28年度岐阜大学 TOEIC スコアアッププロジェクト認定証交付式を実施	21
岐阜大学学生レポートコンテスト表彰式（平成28年度分）を開催	22
平成29年度 寒剤・高圧ガス取扱講習会を開催	25
学位授与	26
叙位・叙勲	27
外国人研究者の受け入れ	28
産官学連携の実施状況	29
メディア掲載一覧	30
諸会議	34
主要日誌	36
人事異動（学内限定）	37

平成29年度岐阜大学入学式及び岐阜大学大学院入学式を挙行

本学は、4月7日（金）、平成29年度入学式を長良川国際会議場にて行い、学部学生1328名、大学院学生611名が入学した。

学部入学生への告辞で森脇学長は「広く日本社会にも、国際社会にも貢献できる人材になる」という志を抱いて頂きたい、大学院入学生には「高度職業人として自分の将来をしっかりと見つめる、あるいは研究者を志向し、しっかりと夢を持ち続ける、そんな大学院生として岐阜大学を楽しみ、かつ利用して頂ければ」と激励した。

式典では、学部入学生を代表して教育学部の田上千紘さん、大学院入学生を代表して、地域科学研究科の江慧君さんがそれぞれ宣誓を行った。



学長告辞



大学院入学生宣誓



入学式の様子

## 【学長告辞】

平成 29 年度 岐阜大学入学式

新入生の皆さん。入学おめでとうございます。本日、1,328名の平成29年度入学者をキャンパスに迎えることは、私どもにとってこの上ない喜びであり、岐阜大学教職員を代表して心から歓迎します。入学の喜びと勉学の意欲に燃える皆さんのフレッシュさを私どもも頂戴し、一緒に新たな勉学の場につくことができるという嬉しい気持ちで一杯です。またこの場をお借りして、今日まで諸君を支えて下さった皆様方にも衷心よりお祝い申し上げます。

さて告辞を始めるに当たりまず、大学における学修とは何か、また大学生として心がけて頂きたいことは何かを幾つか申し上げます。

まず勉強の仕方がこれまでとは全く違うことをしっかり認識して下さい。高校までは学校でした。今日からは大学です。これまでには授業でした。今日からは講義です。諸君もこれまでには生徒でした。今日からは学生です。ではどこが違うのか。これから諸君が学ぶのは既存の学問体系に加え、教授陣が個別に血の出るような努力を重ね築いてきた、個性的な自然科学体系であり、人文科学体系であり、社会科学体系です。諸君はそれらを学んだ上で、自分自身の科学体系を、すなわち物事の考え方を独自に構築していく、これが大学での勉強になります。

このことに関連して申し上げたいのは、とくに一年生での勉強が極めて重要であるということです。これまでとは異なった勉強の習慣と方法を身につけるのは一年生です。実際、卒業時の成績は一年前期・後期の成績と強く相関します。大学に入ったからと言って緩むこと無く、一年次導入教育から全力で励んで下さい。

また、そのような勉強を行う上では基礎的な素養が不可欠であり、それらを修めた上で大学における本来の高等教育、高度専門教育を受けるものとされます。この基礎的な素養がリベラルアーツであり、たとえば欧米の古い図書館などでホールの上空高く羽ばたく7体の女神像で現されます。極めて古典的な用語を用いれば修辞学、文法学、天文地理学、論理学、代数学、幾何学、芸術の7つと、全体を統括する哲学です。もちろん現在これらを直接標榜する科目は少ないでしょうが、高度専門教育と合わせ、リベラルアーツも修めるといった目標を心がけて下さい。次に述べる社会人としての存在そのものの根幹になります。

すなわち、諸君はすでに選挙権を有する社会人であり、**lady**あるいは**gentleman**です。大学における勉学はそのような社会人として自分の責任においてなす行動です。大学の新入

生としてキャンパスに入った段階で、私どもはもちろん社会も、諸君を ladies and gentlemen として見、また期待をします。大学とそのあとに続く社会で諸君は lady あるいは gentleman であるべく、あらゆるチャンスをとらえ努力を積み重ねていってほしいと思います。

次にテーマを変え、岐阜大学の歴史を紹介し、少し自慢させて頂いた上で、皆さんが卒業し、社会で中堅として活躍するに至る、ほぼ 10 年先までの大学の将来計画を申し上げます。岐阜大学の創立は受験資料などでは 1949 年になっています。しかしそれぞれの学部は古い由来を持ち、中でも教育学部の前身である岐阜師範学校は明治 7 年、1874 年の創立で先年 140 周年の記念式典が行われました。ここまで遡ると我が国で 4 番目に古い大学として位置づけられています。ソフト、ハード両方のアーカイブが学内のみでなく市内にも残されていますので、何れ探訪して頂くことも面白いかと思います。

次に 10 年先、2025 年を見据えた岐阜大学の将来ビジョンが式次第に折り込んでありますのでご覧下さい。最も大事なストーリーをお話しします。まず岐阜大学は「地域活性化の中核拠点であると同時に、強み・特色を有する分野において全国的・国際的な教育・研究拠点の形成」を目指します。折り込みにある大きな円柱がそのための 5 大戦略であり、それぞれの下に具体的な取り組みが記されています。自分が所属する学部の将来ビジョンを後ほど確認して下さい。なお国際的・全国的な教育・研究拠点として、私どもはすでに①番：生命科学分野すなわち「生命の鎖」統合研究センター、②番：環境科学分野すなわち流域圏科学研究センターと次世代エネルギー研究センター、③番：ものづくり分野のスマート金型・複合材料研究分野、④番：医学教育開発分野を宣言し、さらに続く分野を構築中です。

今日はとくに「地域活性化の中核拠点」と「国際貢献」という観点の連携についてお話しします。私ども岐阜大学が理念とする「地域」はたとえば県や市、中部地区にとどまるものではなく、全国さらにはグローバルな貢献の発射台となる広さという概念です。またグローバルという場合の対象も漠然と全世界を言うのではなく、例えば岐阜という一地域と海外の一地域との連携を具体的に想定したものであり、新しいタームである「グローバル」という用語を用いて表現するのが、最も相応しいと思います。またその活動も双方の地域における需要に対応したものでなければなりません。そのためには教職員、学生が一体となって日本の、世界の要望にそぐう課題探求と課題解決に邁進する必要があります。従って学外へ、さらに世界へ出て行くことが重要です。特に新入生諸君には、どのような分野、対象であれ「広く日本社会にも、国際社会にも貢献できる人材になる」という志を抱いて頂きたいと願います。

岐阜大学の海外協定大学は7に及び、年間600名を超える外国人学生あるいは研究者が滞在し、キャンパスにはいつも300～400名の外国人留学生在がいます。皆さん英語は今日の新生程度には話して下さいますし、日本語の上手な方も少なくありません。せっかくのチャンスですからどんどん国際的な交流に努めて下さい。また皆さん自身も出来るだけ早い機会に海外への飛躍にも挑戦して下さい。本学からは既に学部学生の段階で国際的な研究コンテストにチャレンジし、入賞する学生が輩出されつつあります。岐阜大学には、学生のこのような海外挑戦を支援する仕組みがかなり充実しています。

また、東京オリンピックに向けてその重要性が高まっている大学スポーツについても、岐阜大学の現状をお話しします。ハンドボール、アメリカンフットボールなどは中部地区に於ける強豪ですが、とくに個人種目については最近2年間でも全国大学競技大会すなわちインカレで、優勝者、準優勝者が陸上競技の走り高跳び、ビームライフルで出ています。施設も充実していますので、スポーツも、さらに文化系の活動も楽しんで下さい。

最後に私ども教職員自身の覚悟を申し上げます。岐阜大学は先に述べた理念を実行出来る人材を育てる場です。教職員自身も常に自分がそうであるべく、新生諸君とともに努力を重ねるのは当然です。ともによき大学人であるべく手を携えて進んでいきましょう。

以上、今日からのキャンパスライフを大いに充実したものとし、また楽しんで下さいと申し上げ、告辞を閉じます。

本日はおめでとうございました。

平成29年4月7日

岐阜大学長  
森脇久隆

## 【学長告辞】

平成 29 年度 岐阜大学大学院入学式

岐阜大学大学院へのご入学おめでとうございます。本日、611名の平成29年度大学院入学者を迎えることは、私どもにとってこれ以上ない喜びであり、岐阜大学教職員を代表して心から歓迎します。さらにこの場をお借りして、大学院進学に至るまで皆さんを支えて下さった保護者の皆様、諸先輩方にもお祝いとお礼を申し上げます。

私ども岐阜大学には4つの大学院修士課程、1つの大学院専門職学位課程、2つの大学院博士課程に加え、岐阜大学を基幹校とする3つの連合大学院があります。連合大学院のうち本日は岐阜薬科大学と構成される連合創薬医療情報研究科入学の皆さんが、教職大学院入学の社会人の皆さんとともに出席されています。この為、稲垣岐阜薬科大学長もご列席下さっています。なお大学院修士課程である自然科学技術研究科は今年4月に創設されたばかりで、工学、応用生物学、再生医科学を統合し、とくにデザイン思考教育を賦加価値とする課程であり、今後、岐阜大学の教育で中核的特徴を形成するものです。また教職大学院も同じく今年4月から拡大され、とくに学校管理職教育の強化が特徴です。

さて岐阜大学は「人が育つ場所」を謳っています。私どもの側から申し上げますと人材を育成する場所です。ではどういう人材を大学院で育てたいのか？「学び究め貢献する」ことができる人材です。とくに強調したいキーワードは貢献です。地域貢献という言葉がすぐ浮かぶかと存じますが、私ども岐阜大学の理念における「地域貢献」はたとえば県や市、中部地区にとどまるものではもちろんなく、全国、さらにはグローバルな貢献まで視野に入れたものです。また民間企業や自治体などから何らかの要請を受けて大学院に進学された入学者も少なくありません。そのような方々は特にそれぞれが所属される場における需要に対応した貢献ができる高度職業人として大学院を卒業されることがあらかじめ期待されています。大学院入学者は学部卒とは異なった高度機能が要求されているわけで、「学び究める」内容もおのずから到達目標が規定されるものと思います。

ただし、大学院に於ける勉強の成果が卒業時にすぐ発揮出来る場合は極めて少なく、社会貢献として還元できるまでには大学院卒業から就職を経て合計20年くらいはかかるということを十分覚悟しておいて下さい。さらにこの間を高度職業人として生き抜くうえで、大学院では何を身に着けておくかも、十分考えて下さい。私共岐阜大学の教職員は何時でもそのような相談に応じるべく用意が出来ているつもりです。

一方で、博士修士課程修了後、コースによっては博士課程への進学も大変魅力的な進路です。これは特に研究職を志望する方々が対象になります。ノーベル賞級の研究成果が多く

は30歳前後で出ていることは事実であり、研究者を駆り立てるのは、どのような分野であれ、夢のような発想です。そのような夢が自然科学、人文科学、社会科学の様々な分野でブレークスルーを生んできました。先に申し上げたこととは相いれないと感じられる方もいらっしゃると思いますが、どのような勉強であれ持続こそが力です。持続をもたらすモチベーションを生む要因の一つが夢です。高度職業人として自分の将来をしっかりと見つめる、あるいは研究者を志向し、しっかりと夢を持ち続ける、そんな大学院生として岐阜大学を楽しみ、かつ利用して頂ければと思います。

今日から諸君と一緒に送る大学生活を大いに楽しみにしていると申し上げ、学長告示とします。

本日は誠にありがとうございました。

平成29年4月7日

岐阜大学 学長  
森脇久隆



## 平成29年度連合農学研究科・連合獣医学研究科入学式を挙行

本学は、4月14日（金）、平成29年度連合農学研究科・連合獣医学研究科入学式を本学講堂にて行い、連合農学研究科博士課程11名、連合獣医学研究科博士課程24名が入学した。

入学生への告辞で森脇学長は「高度職業人として自分の将来をしっかりと見つめる、あるいは研究者を志向ししっかりと夢を持ち続ける、そんな大学院生として連合大学院を楽しみ、かつ利用して頂ければ」と激励した。

式典では、入学生を代表して連合農学研究科の服部浩之さんが宣誓を行った。



学長告辞



大学院入学生宣誓



入学式の様子

## 【学長告辞】

## 29 年度連合大学院入学式

岐阜大学を基幹校とする連合獣医学研究科、連合農学研究科へのご入学おめでとうございます。本日、それぞれ24名、11名の平成29年度入学者を迎えることは、私どもにとってこれ以上ない喜びであり、連合大学院の教職員を代表して心から歓迎します。さらにこの場をお借りして、大学院進学に至るまで諸君を支えて下さった皆様方にも衷心よりお祝い申し上げます。

さて今日、新入生を迎える二つの連合大学院はいずれも20年を超える歴史を有し、伝統的に外国人留学生と社会人入学者比率が高いことが特徴です。すなわち外国の行政機関や教育研究機関、あるいは日本の民間企業や自治体などから何らかの要請を受けて大学院に進学された方々です。さらに学部からのストレート・マスター、ストレート・ドクターの皆さんを含め、すなわち大学院進学のも動機にかかわらず、将来それぞれが所属される場における職務に相応しい貢献ができる、とくにグローバルな貢献ができる高度職業人として大学院を卒業されることが期待されています。連合大学院卒業者には一段と高度な専門職としての機能が要求されているわけで、学修内容も、さらに論文として表される到達目標もおのずから高いレベルに規定されます。

ただし一つ申し上げておきたいことは、大学院における勉強の成果が卒業時にすぐ出るものではなく、社会貢献あるいはグローバルな貢献として還元できるまでには大学院卒業から合計20年くらいはかかる場合も少なくないということです。同時に高度職業人としてその間を生き抜くうえで、予め大学院在学中に何を身に付けておくかも、十分考えて下さい。私ども連合大学院の教職員は何時でもそのような相談に応じる用意が出来ているつもりです。

また企業や政府機関を足場としたグローバルな社会貢献に加えて、大学という研究機関において勉強を続けることも大変魅力的な進路であり、将来研究者を志望する方々の増加も期待します。ノーベル賞級の研究成果が多くは30歳前後で、すなわち大学院在学前後で出ていることは事実であり、その時期において得られた、夢のような発想が自然科学、社会科学の様々な分野でブレークスルーを生んできたからです。またそのような発想をさらに展開させるためには、どんな領域であれ勉強・研究の持続こそが力です。

以上、皆さんには高度職業人として自分の将来をしっかりと見つめる、あるいは研究者を志向ししっかりと夢を持ち続ける、そんな大学院生として連合大学院を楽しみ、かつ利用して頂ければと思います。

今日から諸君と一緒に送る大学院生活を大いに楽しみにしていると申し上げ、学長告示と  
します。

本日はおめでとうございます。

平成 29 年 4 月 14 日

岐阜大学長  
森脇久隆

### 岐阜大学大学院自然科学技術研究科設置記念行事を開催

平成 29 年 4 月に岐阜大学は、「工学研究科」及び「応用生物科学研究科」ならびに「医学系研究科再生医科学専攻」を再編・整備し、新たに「自然科学技術研究科（修士課程）」を設置した。このことを記念して、2017 年 4 月 4 日（火）に岐阜大学大学院自然科学技術研究科設置記念行事として銘板上掲式と設置記念式典を執りおこなった。

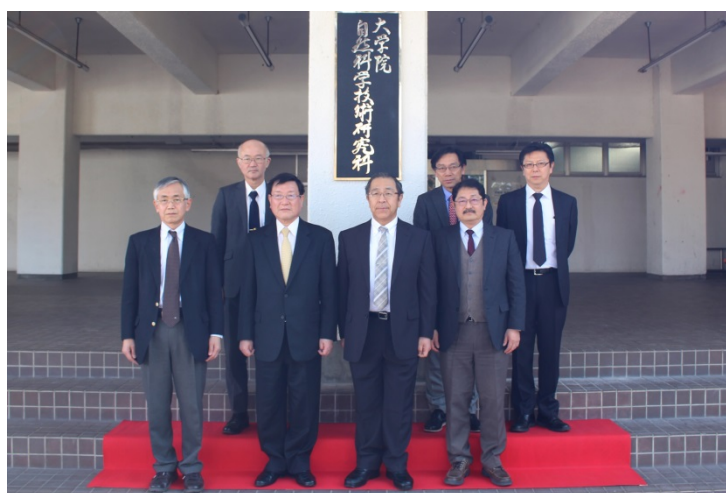
岐阜大学工学部玄関にて、大学院自然科学技術研究科の銘板上掲式がおこなわれた。野々村 研究科長の挨拶では新研究科への展望や銘板の揮毫が工学部 成瀬 准教授によるものであることなどを紹介された。その後、森脇 学長、野々村 研究科長及び杉山 副研究科長の 3 名が銘板の除幕及び披露をおこなった。銘板前で学長や研究科長を含む関係者らによる記念写真撮影をもって銘板上掲式を閉式とした。

記念行事は場所を岐阜大学講堂に移し、設置記念式典がおこなわれた。式典は光永 応用生物科学部副学部長の司会で進行した。始めに森脇 学長から式典参加者へ挨拶があり、新研究科への期待が述べられた。野々村 研究科長からは挨拶と自然科学技術研究科の紹介があった。

式典では第 1 回研究科委員会がおこなわれた。委員会では議長である研究科長から 1. 大学院自然科学技術研究科委員会の組織（構成員）について、2. 研究科長、副研究科長、専攻長、副専攻長、領域長について、3. 大学院自然科学技術研究科委員会（代議員会）の設置について、4. その他、以上の議題について説明があった。

式典は記念講演へと続き、二村 幸基 氏（三菱重工業株式会社 執行役員フェロー 防衛・宇宙セグメント技師長 兼 H-IIA/H-IIB ロケット打上執行責任者）に「宇宙ロケットと宇宙利用概説」と題してご講演いただいた。

最後に、杉山 副研究科長から閉式の挨拶があり、式典は成功裏に閉式となった。



銘板の前にて（前列左から 2 番目 森脇学長，他）

## レイクヘッド大学（カナダ）副学長らが森脇学長を表敬訪問

4月4日（火）に、岐阜市と姉妹都市の関係にあるカナダ・サンダーベイ市のレイクヘッド大学から、ジェームズ・アルドリッジ副学長及びキム・フェダーソン オリリア校校長が来学し、森脇学長を表敬訪問した。同大学とは昨年より大学間学術交流協定の締結に向けて交渉が進められてきた。

学長表敬には鈴木理事（国際・広報担当）、工学部からは嶋陸宏教授、地域科学部からは中川一雄教授、神谷宗明准教授、宮川孝明事務長が同席した。

懇談の中で、鈴木理事から、同日行われた協議において、両大学は協定の締結について最終的な合意に至ったことが報告された。アルドリッジ副学長は、「岐阜大学との交流を非常に楽しみにしている。両大学の学生が、相互に活発に行き来するような交流を目指したい。まずは交換留学や短期語学留学等の学生交流から始め、将来的には研究交流等にも発展させていきたい。」と今後の展望を語った。

地域科学部では平成 28 年度に開設された1年間の留学必修である「国際教養コース」、工学部及び応用生物科学部では短期語学研修の学生派遣先として、同大学と交流を行っていく予定。

一行は、本学を訪問後、岐阜市役所にて細江茂光市長を表敬訪問し、本学との協定締結の合意について報告を行った。細江市長からは、「森脇学長にもぜひ一度レイクヘッド大学へ足を運んでいただき、両地域のさらなる親交を深めていただきたい。」と話された。

本学とレイクヘッド大学の間には構成学部、規模、立地、地域との深い関わり等、数多くの共通点があることから、今後、様々な形で交流が発展していくことが期待される。



懇談の様子



前列左から 中川教授、アルドリッジ副学長、森脇学長、フェダーソン校長、鈴木理事  
後列左から 嶋教授、神谷准教授

岐阜大学大学院教育学研究科 日本台湾教育研究交流大会  
「学校管理職の養成を考える」

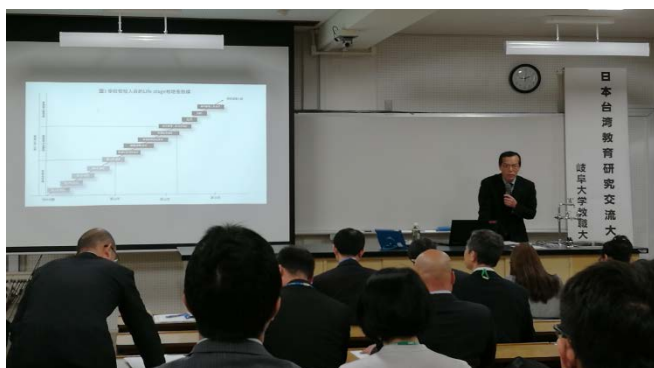
平成29年4月16日(日)、岐阜大学大学院教育学研究科において日本台湾教育研究交流大会が開催された。台湾側は台北市立大学教授や台北市の校長先生等13名が来訪された。日本側は岐阜大学教職大学院の教員・院生・修了生、岐阜県教育委員会、高山市教育委員会、独立行政法人教職員支援機構の台湾視察団等、合わせて87名が参加し、活発な交流が行われた。

午前は2つの基調講演が行われた。

基調講演Ⅰ「日台における学校管理職養成」

「日本における学校管理職養成」 岐阜大学教授 篠原清昭

「台湾における小中学校校長育成体系の構築と実践」 台北市立大学教授 吳清山



基調講演を行う岐阜大学教職大学院 篠原教授



基調講演を行う台北市立大学 吳清山教授

基調講演Ⅱ「日台における学校改革」

「日本における学校改革」 岐阜大学准教授 田村知子

「台湾における学校改革：知能走察」 台北市立大学教授 黄旭鈞

午後は研究発表で、岐阜大学教職大学院の修了生6名と台北市の校長先生6名の発表・質疑が行われた。

学校管理職養成の先進地である台湾の教育システムを学び、わが国の学校管理職養成の現状や課題、その解決の方向性を考える重要な機会となった。



台湾の教育関係者と岐阜大学教職大学院関係者による記念撮影



## 笠松町と連携に関する協定を締結

岐阜大学と笠松町は、4月17日（月）に連携に関する協定を締結した。

本協定は、岐阜大学と笠松町が、多様な分野で包括的に緊密な協力関係を築き、持続的・発展的に連携を深めることにより、活力ある地域社会の形成・発展及び未来を担う人材育成に寄与することを目的とする。なお本学が地方自治体と連携協定を締結するのは21件目。

笠松町役場で行われた協定締結式では、広江正明笠松町長より「笠松町と岐阜大学が一体となって様々な課題に取り組んでいきたい。若い学生に参加してもらいながら、まちの活性化を図っていくチャンスではないかと思う。」森脇学長からは「学生と一緒にになって地域の特徴や問題、解決策を勉強し、取り組んでいくことが、地域活性化の中核拠点として必要となる姿勢だと考えている。今後笠松町と一緒にになって教育や健康を中心としたまちづくりに取り組んでいきたい。」と挨拶があった。

今後岐阜大学と笠松町は、岐阜工業高校との高大連携事業、木曾川や馬といった資源を活用した取り組み等について協議を進めていく予定。



協定を締結し、握手を交わす森脇学長（右）と広江町長

平成29年度 第1回学長記者会見を実施

平成29年4月19日（水）に、平成29年度第1回学長記者会見を実施した。

今回の会見では、昨年度までの「岐阜大学の将来ビジョン」の進捗状況を踏まえ、平成29年度の「岐阜大学の将来ビジョン」における活動について、ポスターを用いて森脇学長から説明を行った。

その後、岐阜県中央家畜保健衛生所や食品科学研究所（仮称）を含む、岐阜大学の土地利用計画と実施状況について、説明を行った。



説明する森脇学長

## 応援奨学生決定通知書交付式を実施

4月19日（水）、平成29年度岐阜大学応援奨学生に対し決定通知書交付式が行われた。

岐阜大学では、平成22年度から“岐阜大学基金”による事業の一環として、人物及び学業成績において優れ、他の学生の模範となる学生に奨学金を支給することにより、学業を応援し、優れた人材を育成することを目的に、応援奨学生の制度を実施している。29年度は各学部、各研究科より推薦を受け、24名の応援奨学生が決定した。

交付式では、森脇学長から通知書が手渡され、「岐阜大学基金の支援事業の趣旨を十分理解し、さらに勉学に励み、有意義な学生生活を送ってもらえることと期待しています。大切に使ってください」と挨拶があった。

応援奨学生を代表して、医学部看護学科の水野成美さんが「応援奨学生の制度が現職の教職員、OB、一般社会の皆様からの寄付によって成り立っていることを忘れず、これからも学業に専念していきたい」と抱負を述べた。



決定通知書を受け取る塩谷さん



奨学生を前にあいさつをする森脇学長



集合写真

## 海外留学フェアを開催

平成 29 年 4 月 19 日 (水), 全学共通教育棟 103 教室で本学グローバル推進本部主催の平成 29 年度岐阜大学海外留学フェアが開催された。当フェアは、留学に必要とされる語学力や本学における留学プログラムに関する情報を提供し、留学の促進を図ることを目的として平成 24 年度より毎年実施している。今年度は新入生をはじめとする 77 名の学生の参加があった。

森田晃一グローバル推進本部副本部長・留学生センター長の司会のもと、冒頭には、鈴木文昭 理事・副学長 (国際・広報担当) グローバル推進本部長から挨拶があり、その後、国際教育交換協議会日本代表部、及び公益財団法人日本英語検定協会の担当者から、語学能力試験である TOEFL iBT, IELTS についてそれぞれ説明があった。

次に、本学の実施する各種プログラムの説明があった。グローバル推進本部、教育学部、工学部の各担当の教職員が、交換留学と奨学金制度、各学部等が長期休暇期間に行う短期間の海外派遣プログラムについて概要を説明した。

その後、昨年度の留学経験者からの留学体験報告があった。工学部短期派遣プログラムやサマースクール、「トビタテ! 留学 JAPAN」により昨年度留学した学生計 4 名が、自身の留学体験について発表した。

最後に、保健管理センターの担当教員から、海外での自己健康管理についての説明があった。

参加者は、各担当者の説明や留学経験者の体験談に熱心に聞き入り、説明終了後も発表者に個別に質問をする姿が見られるなど、留学への関心の高さが伺えた。今後もこうした情報提供・相談の機会を積極的に設けていきたい。



フェア当日の様子

## 平成 28 年度岐阜大学 TOEIC スコアアッププロジェクト認定証交付式を実施

4月26日(水),岐阜大学 TOEIC スコアアッププロジェクト認定証交付式を実施した。本プロジェクトは, TOEIC テストにおいて 800 点以上を取得した一般職員(事務職員及び技術職員)に対して奨学金を贈呈し,さらなる研鑽を奨励するもの。

交付式では,鈴木文昭グローバル推進本部長より,平成 28 年度に認定された 1 名に認定証が交付された。その後,鈴木文昭グローバル推進本部長,野々村晴子国際企画調整役と懇談が行われ,普段の業務での英語を活用する機会や, TOEIC の勉強方法等について意見交換が行われた。鈴木理事からは,大学の国際化に伴い職員の英語対応力はますます重要となってきたため,認定者らが周囲に良い刺激を与える存在となり,大学全体の英語力向上に貢献してほしいと期待の言葉があった。

本プロジェクトは,語学に堪能な職員を全学的に増やし事務の国際化とサービスの向上を図るため,若手事務職員からの提案を元に,平成 27 年度より開始した。今後も継続して実施する予定。



認定証交付後の様子

## 岐阜大学学生レポートコンテスト表彰式（平成28年度分）を開催

4月24日（月）、平成28年度分の岐阜大学学生レポートコンテストの表彰式がアカデミック・コアにて行われた。

学生レポートコンテストは、①優れたレポート及びその作者を顕彰することで、学生の意欲的な学びを奨励すること、②優れたレポートを公開することで、後々の学生がお手本にできる教材を提供することを目的として毎年開催しているもの。

表彰式では、森脇久隆学長、江馬論理事・副学長らが見守るなか、教育推進・学生支援機構の海野年弘学修支援部門長から、以下の3名に表彰状と副賞が授与され、受賞者による作品の紹介があった。

最優秀賞 工学部4年・水野達広さん  
佳作 工学部2年・林峻輔さん  
教育学部3年・伊藤愛美さん



表彰状を受け取る水野さん



レポートの紹介をする伊藤さん



受賞者へのコメントをする森脇学長





集合写真

## 平成29年度 寒剤・高圧ガス取扱講習会を開催

岐阜大学では、寒剤・高圧ガスに関する基礎知識を習得し、適切な利用と事故の防止を図ることを目的として、毎年、教職員・学生を対象に、寒剤・高圧ガス取扱作業に対する安全衛生教育講習会を実施している。

7回目となる今年度は、4月26日（水）に、生命科学総合研究支援センター機器分析分野の近江靖則准教授及び応用生物科学部の西津貴久教授が、株式会社巴商会の協力を得て、寒剤・高圧ガスを使用する際の作業方法および注意点について講習を行い、287名の参加があった。

講習会では、過去の事故例の映像を視聴する等、酸素欠乏症の恐ろしさを認識するとともに、作業のポイントを学び、受講者は真剣な表情で聴講した。

また、本学での具体的な運用方法として、工学部に設置されている液化窒素タンクの取り扱い操作や応用生物科学部での液体窒素の運搬方法についての講習も行われた。

本学では、今回の講習会で学んだ知識を今後の実験・実習で活用し、安全な実験環境の構築に務めていく。



近江准教授による講習



受講風景

## 学位授与

学位の種類	学位記番号	氏名	授与年月日	学位論文名
甲第1049号	博士(医学)	すぎやま たろう 杉山 太郎	平成29年4月19日	MiR-133b inhibits growth of human gastric cancer cells by silencing pyruvate kinase muscle-splicer polypyrimidine tract-binding protein 1 (MiR-133bはPKMスプライサーであるPTBBP1の抑制によってヒト胃癌細胞の成長を阻害する)
乙第1491号	博士(再生医科学)	たまい きよこ 玉井 清子	平成29年4月19日	Multidrug-resistant clinical strains identified as <i>Pseudomonas putida</i> group cluster independently of <i>P. putida</i> and <i>Pseudomonas monteilii</i> type strains in a phylogenetic analysis using eight concatenated hypervariable housekeeping sequences ( <i>Pseudomonas putida</i> groupの多剤耐性臨床分離株は、高度可変的な8個のhousekeeping遺伝子配列の連結を用いた系統解析を行うと、 <i>P. putida</i> および <i>Pseudomonas monteilii</i> の基準株とは独立したクラスターを形成する)

**平成29年春の生存者叙勲 —本学関係者3名が受章—**

平成29年春の生存者叙勲が4月29日に発表され、本学関係者では次の方々が受章された。

**教育研究功労**

**瑞宝中綬章**

宇野 尚雄 氏  
(名誉教授、元工学部教授)



**瑞宝中綬章**

大谷 勲 氏  
(名誉教授、元医学部教授)



**瑞宝中綬章**

岡 伸光 氏  
(名誉教授、元医学部教授)

## 外国人研究者の受け入れ（4月）

受入部局	氏名 (国名)	所属・職名	期間	研究題目
工学部	アウン ツー モー Aung Thu Moe (ミャンマー)	ラシヨウ大学 物理学科 准教授 Associate Professor, Department of Physics, Lasio University	2017/4/29～ 2017/7/14	ダブルハイパー核に関する研究 Research on Double Hypernucleus
工学部	ミン ミン ソウ Min Min Soe (ミャンマー)	ヤンゴン大学 物理学科 助講師 Assistant Lecturer, Yangon University	2017/4/29～ 2017/7/24	NUCLEAR PHYSICSに関する研究 Nuclear Physics
応用生物 科学部	イスラット ゼリン モニ Mst. Ishrat Zerín Moni (バングラデシュ)	ラジシヤヒ大学 助教授 Assistant Professor, University of Rajshahi	2017/4/2～ 2017/6/30	家畜からの原虫分離技術に関する基礎研究 Isolation technique of Protozoan parasites from domestic animals

## 産官学連携の実施状況

## ○共同研究

(平成29年4月契約分)

部局名	研究代表者	企業等名
工学部	國枝 稔	日本ヒルティ(株)
応用生物科学部	村瀬 哲磨	(福)中部盲導犬協会
応用生物科学部	上野 義仁	ヤマサ醤油(株)
応用生物科学部	矢部 富雄	一丸ファルコス(株)
応用生物科学部	西津 貴久	イビデン物産(株)
連合創薬医療情報研究科	赤尾 幸博	シーシーアイ(株)
応用生物科学部	西津 貴久	サントリービール(株)
工学部	守富 寛	(公財)科学技術交流財団
工学部	新川 真人	(公財)科学技術交流財団
工学部	宮坂 武志	(公財)科学技術交流財団
教育学部	久保 和弘	(株)田中金属製作所
教育学部	柴田 奈緒美	(株)田中金属製作所
工学部	松村 雄一	日本電産(株)

## ○受託研究

(平成29年4月契約分)

部局名	研究代表者	企業等名
工学部	能島 暢呂	国立研究開発法人防災科学技術研究所
工学部	久武 信太郎	国立研究開発法人科学技術振興機構
応用生物科学部	浅井 鉄夫	内閣府食品安全委員会事務局
工学部	仲井 朝美	国立研究開発法人科学技術振興機構
医学部附属病院	安田 満	国立研究開発法人日本医療研究開発機構

## メディア掲載一覧

○新聞

(平成29年4月分)

掲載日	新聞名	内容
4月1日	毎日	県と岐阜大が新協定 障害児教育で全国3例目 医師の育成と確保へ連携
4月1日	中日	岐阜大病院どら焼き カロリー削減 3日から販売 ～医学部附属病院 小倉真治 病院長～
4月2日	中日	◎病院の実力：15歳未満 小児専門病院で 脳腫瘍 ～医学部附属病院脳神経外科 矢野大仁 臨床教授～
4月2日	中日	統計調査員育成 県と岐阜大 覚書 ～地域協学センター 益川浩一 センター長～
4月2日	中日	岐阜大病院「呼吸器センター」本格始動 重度疾患で3科連携 ～医学部附属病院 岩田 尚 臨床教授～
4月3日	中日	岐阜と学生つなげ10年 フリーペーパー発行「岐阜人」 ～三輪祐希さん～
4月4日	岐阜	◎研究室から大学はいま：高齢者の転倒リスク把握へ ～医学部附属病院耳鼻咽喉科 水田啓介 科長・臨床教授～
4月4日	中日	地域の子ども受け入れ開始 岐阜大の保育園「ほほえみ」 働く女性支援 0～2歳対象 ～教育学部教授 春日晃章 園長～
4月5日	岐阜	岐阜大とカナダ・姉妹都市の州立大 交換留学で学術交流 9月までに協定を締結 ～森脇久隆 学長～
4月5日	中日	カナダ・レイクヘッド大副学長 連携協定向け岐阜大表敬 ～森脇久隆 学長～
4月5日	岐阜	新研究科の銘板序幕 岐阜大、理系修士課程を再編 ～自然科学技術研究科 野々村修一 科長～
4月5日	中日	自然科学の研究科新設 岐阜大大学院 経営スキルアップ ～自然科学技術研究科 野々村修一 科長～
4月6日	毎日	日本のワサビは400万年前に分岐か ～応用生物科学部 山根京子 助教～
4月8日	岐阜	◎夕閑帳：岐阜公園，三重塔 ～岩田弘敏 名誉教授～
4月8日	岐阜	◎ゆっコラム：「金ぴか社長」味を守る 串かつ玉屋 代表取締役 大橋富四郎さん ～大学院生 ゆっこさん～
4月8日	朝日	北方町 岐阜大病院へのタクシー代 75歳以上に一部助成
4月8日	岐阜	向上心持ち夢へ一歩 岐阜大・大学院が入学式
4月8日	中日	岐阜大入学式 1939人が決意新た

4月9日	岐阜	◎サンデーコラム：体力と知能「真の老化」とは 生活環境，経験で変化 ～大学院 大森正英 講師～
4月11日	岐阜	◎研究室から大学はいま：地盤構造物の内部を可視化 ～工学部社会基盤工学科 八嶋 厚 教授～
4月11日	岐阜	東海大学野球：中部院大が先勝 岐阜大は2季ぶり勝利
4月12日	毎日	憂楽帳：若者を引き寄せる ～工学部 出村嘉史 准教授～
4月13日	中日	橋の点検にドローン 岐阜大など実地実験 ～工学部 六郷恵哲 特任教授～
4月14日	中日	ムスリムにも安心の味 岐阜大生協の食品コーナー 禁止食材含まず 留学生から好評 ～工学部グローバル化推進室学術研究員 アスター・ラハマさん～
4月14日	岐阜	東海大学野球：春季岐阜リーグ ～硬式野球部～
4月14日	岐阜	マングローブ林減少に警鐘 「生態系の復元，困難」 小見山岐阜大名誉教授が研究本出版 ～小見山章 名誉教授～
4月14日	毎日	「ヤギさん除草隊」に日本農業賞 美濃加茂市長に渡辺代表が報告
4月15日	岐阜	◎ゆっコラム：「ひとり芝居」魅力輝く 女優 もりとみ舞さん ～大学院生 ゆっこさん～
4月15日	岐阜	農学，獣医学 志高く 岐阜大大学院 2連合研究科が入学式
4月15日	朝日	岐大病院に呼吸器センター 治療と専門医育成へ 地域医療機関と連携強化も ～医学部附属病院呼吸器センター 岩田 尚 センター一長～
4月16日	日本経済	ゲノム分析で親子や近縁種を解明 優れた兄弟の開発へ期待 ～応用生物科学部 山根京子 助教～
4月16日	中日	企業さん いらっしゃ～い 岐阜で就活イベント "立場逆転"の学生ブース ～岐阜大サテライトキャンパス～
4月16日	岐阜	東海大学野球：春季岐阜リーグ ～硬式野球部～
4月17日	岐阜	東海大学野球：春季岐阜リーグ ～硬式野球部～
4月17日	岐阜	◎教えてホームドクター：統合失調症の治療 幻覚や妄想，薬で改善 リハビリで社会復帰を目指す ～医学部附属病院 塩入俊樹 教授～
4月18日	岐阜	◎研究室から大学はいま：微生物使い排水浄化，発電 ～流域圏科学研究センター 廣岡佳弥子 准教授～
4月18日	中日	学校管理職の養成 日台教員ら考える 岐阜大で交流大会
4月18日	中日	「ぎふ」担う人材確保を 人づくり分科会 県，初会合 意見交わす ～『清流の国ぎふ』づくり推進県民会議 ・人づくり分科会会



		長 森脇久隆 学長～
4月20日	読売	強みある研究拠点へ 岐阜大 施設整備推進 ～森脇久隆 学長～
4月20日	中日	産、官との連携 6施設整備意欲 森脇学長が会見 ～森脇久隆 学長～
4月20日	中日	応援奨学生 勉学向上誓う 岐阜大 24人, 通知書交付式
4月20日	岐阜	岐阜大が連合解消へ 3大学との大学院獣医学研究科 新たに鳥取大と連携体制 ～福士秀人 副学長(学術研究・情報担当)～
4月20日	中日	活性化へ協定結ぶ 笠松町と岐阜大
4月21日	岐阜	◎ちほ先生が見た岐阜人の不思議①: 喫茶店好き 年間喫茶代は全国1位 ～教育学部 大藪千穂 教授～
4月21日	岐阜	女性研究者の輝き発信 岐阜大など4機関, 紹介冊子発行 ～林正子 副学長(多様性人材活力推進担当)～
4月22日	岐阜	◎ゆっコラム:「今」の大切さ 熱血指導 人間形成塾「明日成」代表取締役 加藤健一さん ～大学院生 ゆっこさん～
4月22日	岐阜	本巣市が岐阜大と連携 園児運動に専門理論 体力向上プログラム策定へ ～教育学部 春日晃章 教授～
4月22日	中日	ぎふ清流ハーフマラソン 上空からランナー見守り 救護用ドローンを初導入 ～医学部附属病院高度救命救急センター 名和 祥 医師～
4月23日	岐阜	東海大学野球: 春季岐阜リーグ ～硬式野球部～
4月23日	中日	岐阜大学シティカレッジプログラム: 頭痛の知識と対処法 ～医学系研究科 岩間 亨 教授～
4月24日	岐阜	東海大学野球: 春季岐阜リーグ ～硬式野球部～
4月25日	中日	「信長の岐阜」どう発信? 「わかもの会議」知恵絞る 信長塾, 「天下統一鍋」動画...多彩な案 ～学生団体「IFU」代表 工学部 3年 加藤大暉さん～
4月25日	岐阜	◎研究室から大学はいま: 腸神経の働きを動物で解明 ～応用生物科学部共同獣医学科 椎名貴彦 准教授～
4月26日	日本経済	キャンパス発この一品: 人工筋肉膝サポーター 歩行ロボ研究者, 高い性能確認 ～工学部 松下光次郎 助教～
4月26日	毎日	ぎふ人物記: 柳ヶ瀬をより「おしゃれ」に ～工学部 出村嘉史 准教授～
4月27日	岐阜	高山, クマ警戒続く 職員ら登下校見守る ～応用生物科学部 浅野 玄 准教授～
4月27日	読売	クマ襲撃 高山厳戒 猟友会, 警察が見回り ～森元萌弥 元特任

		助教～
4月27日	中日	復興相問題を議論 新聞カフェ 岐阜大で始まる ～地域科学部4年 丸山純平さん 他～
4月28日	岐阜	地域振興へ官学連携 笠松町と岐阜大が協定 ブランド商品など考案 ～森脇久隆 学長～
4月29日	岐阜	◎みんなで防災・減災：人材育成から連携の輪創出 ～流域圏科学研究センター 小山真紀 准教授～
4月29日	岐阜	県「清流アスリート強化事業」 98団体 28人を指定 【成年個人】陸上 赤松諒一さん
4月29日	岐阜	インフラ管理で岐阜大など表彰 政府創設の「大賞」 ～工学部附属インフラマネジメント技術研究センター～
4月29日	岐阜	瑞宝中綬章 <教育研究功労> 大谷 勲 名誉教授, 岡 伸光 名誉教授

## ○テレビ・ラジオ・雑誌等

(平成29年4月分)

放送日	番組名	内容
4月10日	FM わっち 12:41～13:00	「岐阜大学からこんにちは」 長瀬春奈さん(大学院連合創薬医療情報研究科1年)
4月12日	ケーブルテレビCCN 地上デジタル11ch, 12ch	「エリアトピックス」(10分番組) 6:45, 7:45, 8:45, 11:45, 12:45, 20:45, 23:45 入学式の様子が紹介されました

◇第567回 役員会

4月6日(木)

(議事)

1. 教育職員の選択定年年齢の変更について

◇第1回 授業編成専門委員会

4月10日(月)

(審議事項)

1. 平成29年度授業編成専門委員会の開催日について
2. 平成29年度非常勤講師採用計画の一部変更について
3. 大学以外の教育施設等における学修の単位認定について
4. 日本語科目及び日本事情に関する科目の充当について
5. 平成29年度前学期放送大学に在学する特別聴講生の受け入れについて
6. 休業日の授業の実施について

◇第1回 部局長・部長会

4月13日(木)

(協議事項)

1. 経営/マネジメント教育部門設置検討ワーキンググループ委員について

◇第1回 教学委員会

4月18日(火)

(審議事項)

1. 教学委員会委員長代理について
2. 委員会の開催日について

◇第568回 役員会

4月20日(木)

(議事)

1. 役員会に附議する重要事項について
2. 教育職員雇用申請について
3. 特任教員雇用申請について

◇第158回 教育研究評議会

4月20日(木)

(審議事項)

1. 学長選考会議委員の選出について
2. 経営協議会学外委員について

4月25日(火)

1. (公財) 岐阜観光コンベンション協会との連携協定について

◇第1回入学試験専門委員会

4月26日(水)

<審議事項>

1. 大学院連合獣医学研究科の今後の動向について
2. 委員長代理について
3. 平成30年度入試以降の入学者選抜の検討スケジュール(案)について
4. 平成30年度入学者選抜試験における情報処理日程(案)について

◇第569回 役員会

4月27日(木)

(議事)

1. 平成29年度岐阜大学内部監査基本計画について
2. (公財) 岐阜観光コンベンション協会との連携協定について
2. 平成29年度会計監査人候補者の選定について

## 主要日誌

月 日	行 事 名
4/ 3	事務系新任職員研修(人材)
6	第567回 役員会
7	平成29年度岐阜大学入学式及び岐阜大学大学院入学式
10	第1回授業編成専門委員会
13	第1回 部局長・部長会
14	平成29年度岐阜大学大学院連合農学研究科及び連合獣医学研究科入学式
16	日本台湾教育研究交流大会(教)
18	第1回 教学委員会
19	研究科委員会・教授会(地・教・工・応)
20	第568回 役員会 第158回 教育研究評議会
21	代議委員会(連獣)
25	第1回岐阜大学グローバル推進本部会議
26	第1回入学試験専門委員会
26	春の花市
27	第569回 役員会